

安全・安心に関するアンケート結果

PART II

愛媛の

あん・しん・まもる



愛媛県警察本部 生活安全企画課

「安全・安心に関するアンケート（PARTⅡ）」について

【はじめに】

県警では、安全で安心して暮らせる愛媛県を目指し、県民の方々が犯罪に遭わないよう、あらゆる広報手段を活用して、振り込め詐欺防止に関する情報の発信、不審者情報に関するメールの配信、鍵かけに関する広報啓発など、防犯情報の発信に努めているところです。また、青色パトロール活動や各種ボランティア団体による活動の支援を行い、地域の自主ボランティア活動の活性化を図るなど、犯罪の未然防止に向けて、さまざまな活動を行っています。

今回のアンケートは、昨年（H23）に実施した「（第1回）安全・安心に関するアンケート」から、さらに一步踏み込んだ内容とし、県民の皆さまが日頃どのような形で防犯情報に接し、どのような形での情報発信を望んでいるのかを調査、効果的な情報発信の在り方について考えるとともに、各種ボランティア団体の活動が皆さまの目にどのように映り、その活動が安全で安心な暮らしに繋がっているのかを確認するために行いました。

県警では、これらアンケートの実施結果を踏まえ、今後の各種施策等に反映することとしておりますので、皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。

生活安全企画課 犯罪抑止対策係

目 次

1 アンケート実施概要

2 アンケート集計結果

- ① 回答者に関する事項
- ② 防犯情報に関する事項
- ③ 犯罪に関する事項
- ④ 防犯ボランティアに関する事項
- ⑤ 各種活動や運動等の認知度に関する事項

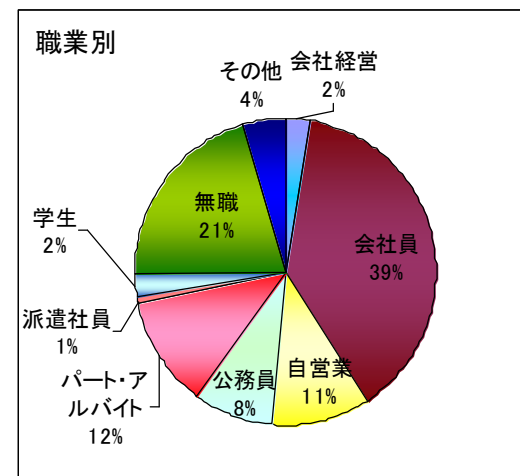
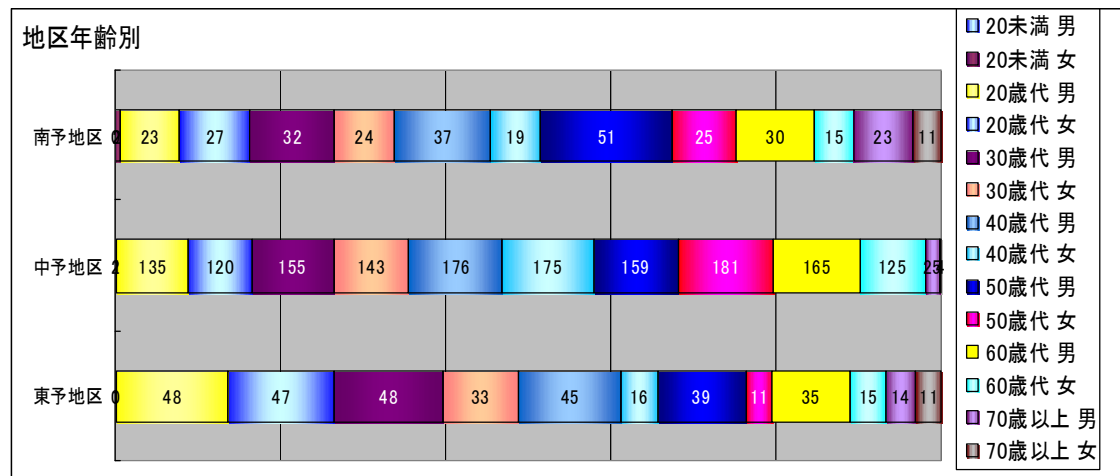
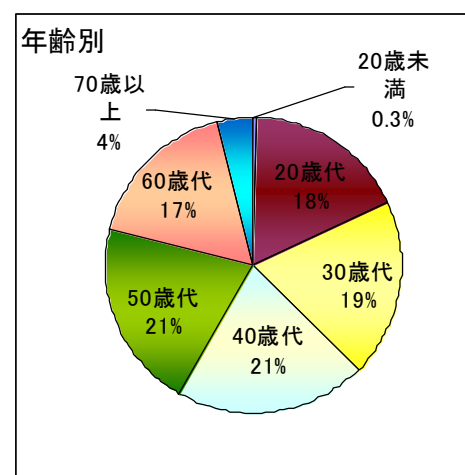
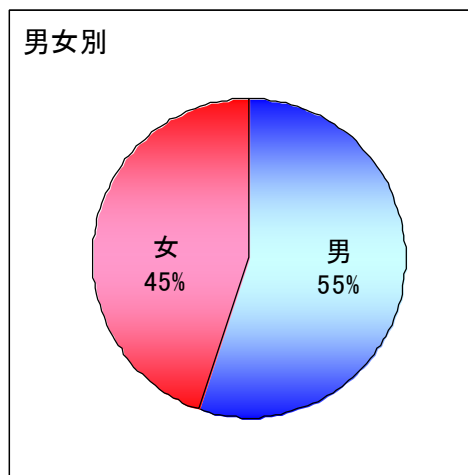
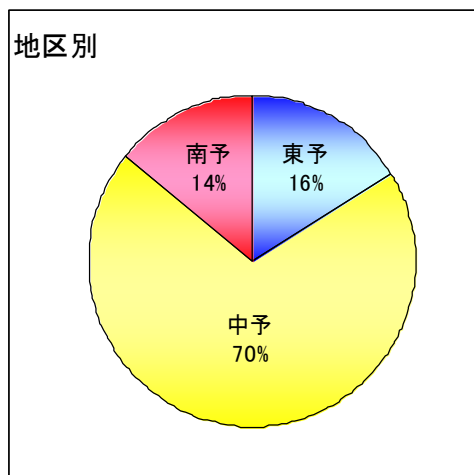
安全・安心に関するアンケート実施概要

PART II

- 1 実施期間
平成 23 年 12 月 12 日（月）～平成 24 年 1 月 13 日（金）までの間
- 2 対象（回答者）
県民各層 2, 248人
- 3 アンケート内容（全 18 問）
 - ① 回答者に関する事項
 - ② 防犯情報に関する事項
 - ③ 犯罪に関する事項
 - ④ 防犯ボランティアに関する事項
 - ⑤ 各種活動や運動等の認知度に関する事項
- 4 実施要領
運転免許センターにおいて免許更新時の講習者や、県下 16 署において各種警察活動を通じて接する県民の方々に対して実施しました。

①回答者に関する事項

地区	人数	男女別	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
東予地区	363	229	0	48	48	45	39	35	14
		134	1	47	33	16	11	15	11
中予地区	1566	817	2	135	155	176	159	165	25
		749	1	120	143	175	181	125	4
南予地区	319	196	0	23	32	37	51	30	23
		123	2	27	24	19	25	15	11

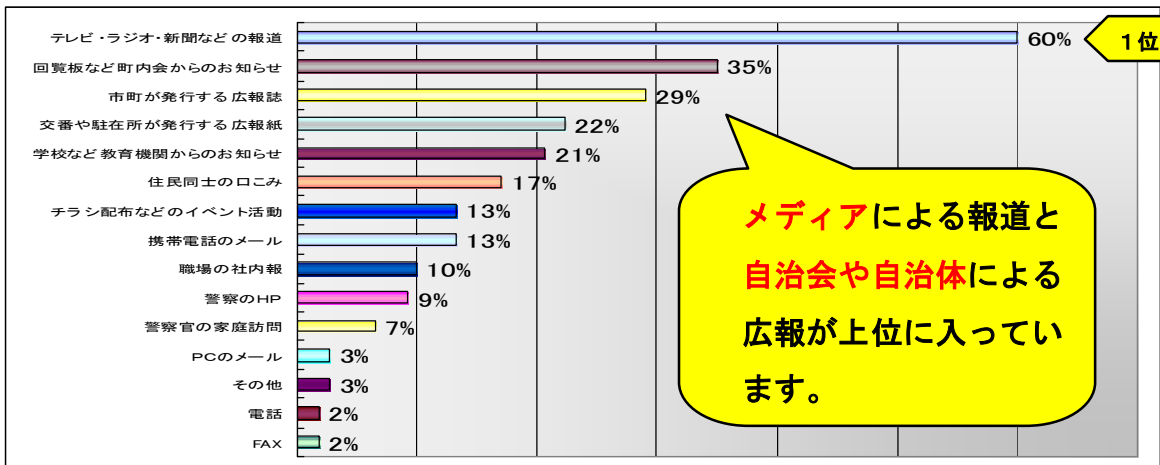
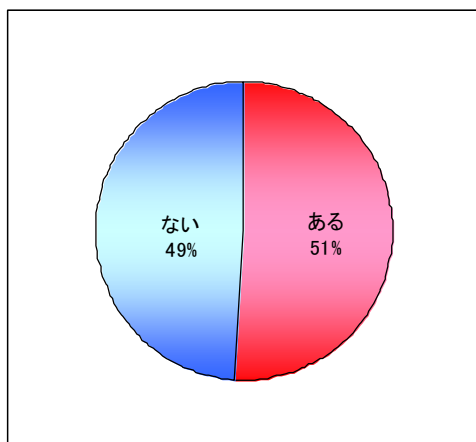


②防犯情報に関する事項

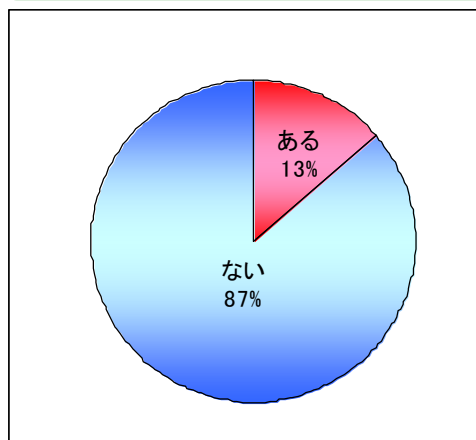
問 あなたは、今までに振り込め詐欺の防止や鍵かけによる盗難防止、不審者の出没状況などの防犯情報を得たことがありますか。



問 左の問いで、「ある」と答えた方で、どのようにして防犯情報を得ましたか。(複数回答可)



問 あなたは、防犯情報を得るために、警察本部や警察署のホームページを見たことがありますか。



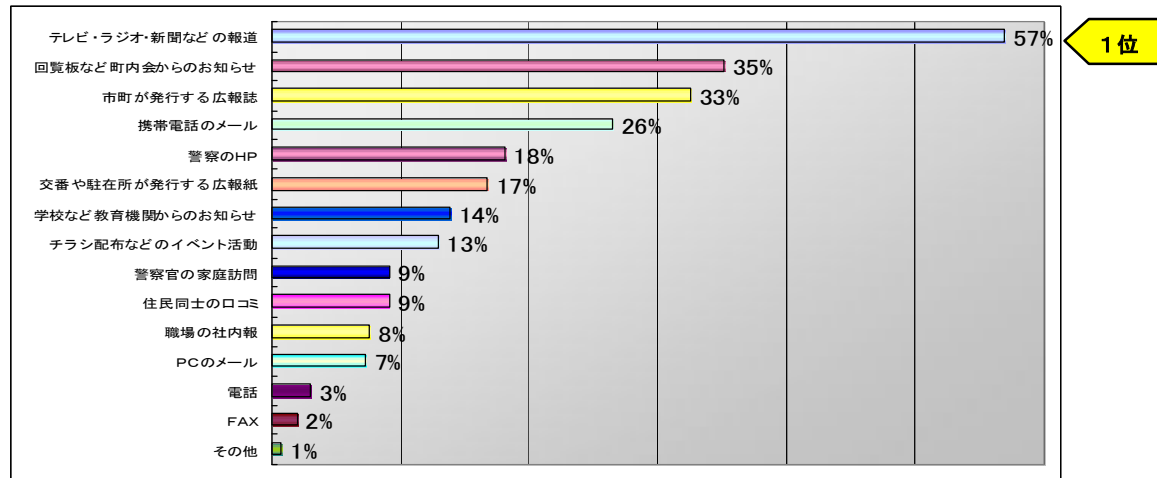
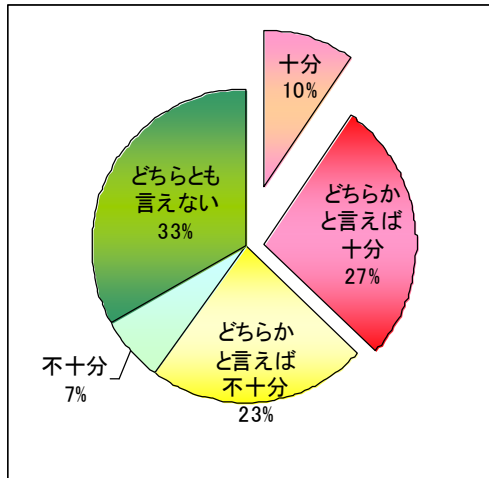
- 振り込め詐欺の防止や鍵かけによる盗難防止などの防犯情報について、「得たことがある」と答えたのは**約半数**です。
- 防犯情報を得たことがあると答えた人のうち、その入手方法について、①テレビなどの報道、②町内会からのお知らせ、③市町が発行する広報誌の順となっています。
- 防犯情報を得るために、警察のHPを見たことがあると答えた人は、**約1割**に止まっています。

②防犯情報に関する事項

問 あなたは、防犯情報について、警察からの情報提供は十分だと思いますか。

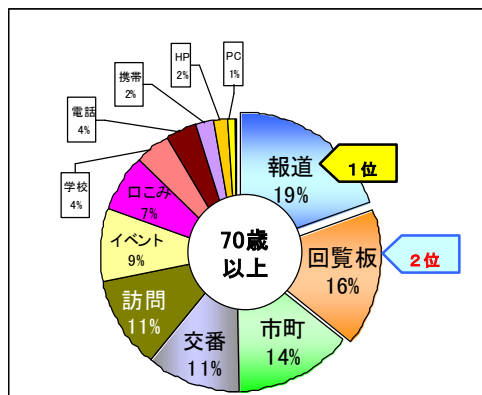
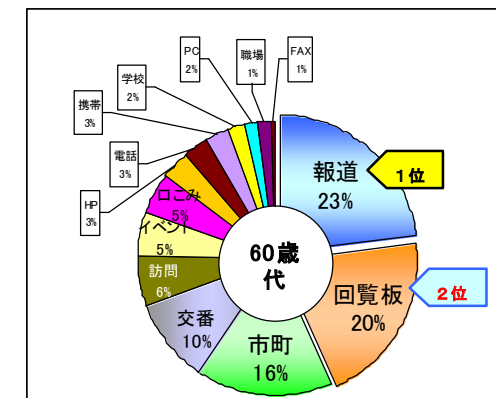
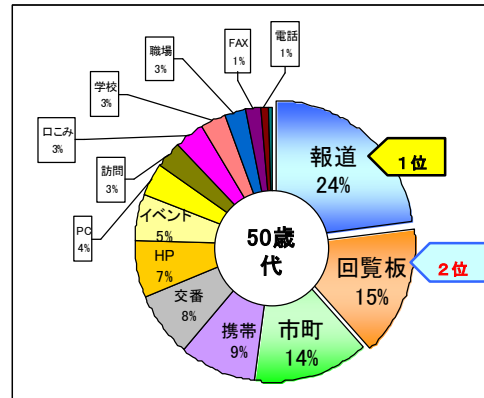
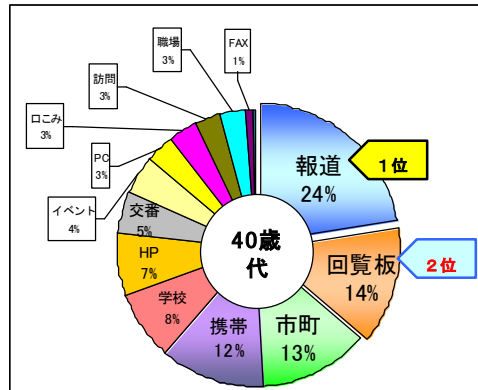
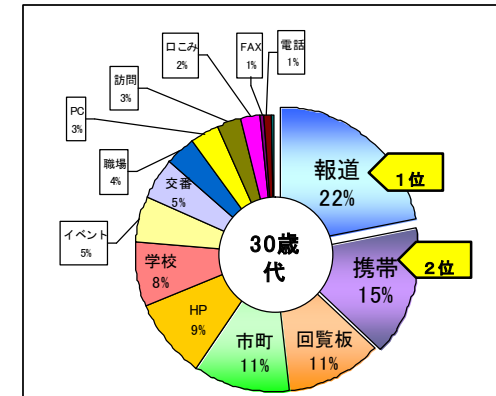
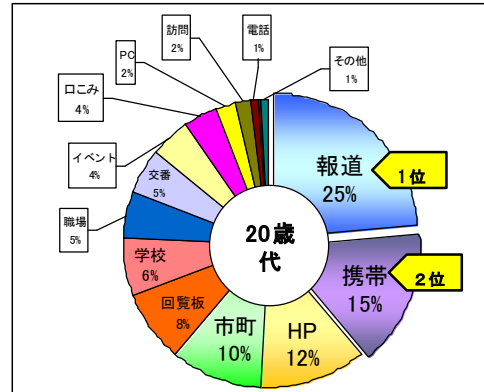
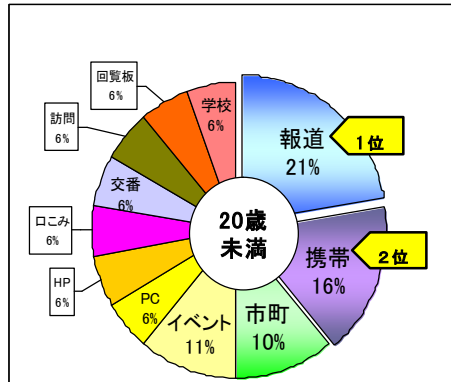


問 あなたが防犯情報を得ようとする場合、どのような方法で得たいと思いますか。(複数回答可)



- 警察からの防犯情報の提供について、
約4割の人が「十分」「どちらかと言えば十分」と答えており、
約3割の人が、「不十分」「どちらかと言えば不十分」と答えています。
- 防犯情報の入手方法について、
約6割の人が、「テレビ・ラジオ・新聞などの報道」と答え、続いて、「回覧板など町内会からのお知らせ」、「市町が発行する広報誌」の順となっています。
 また、「携帯電話のメール」と答えた人の割合が上位に入っています。

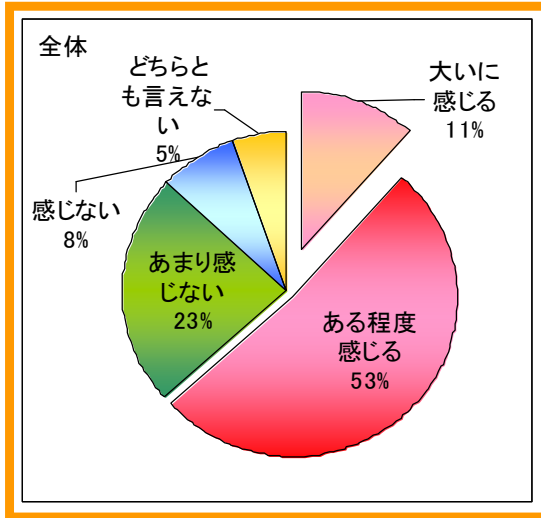
【年代別の希望入手方法】



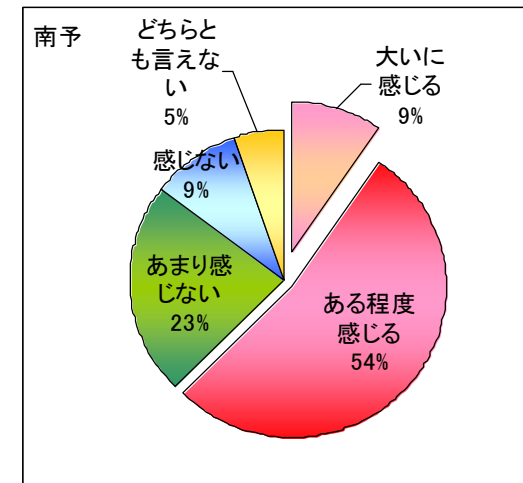
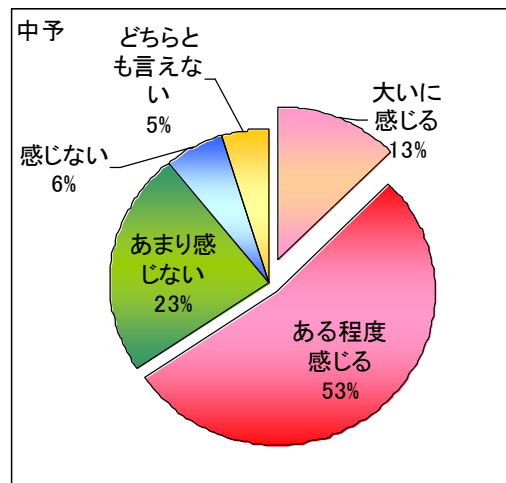
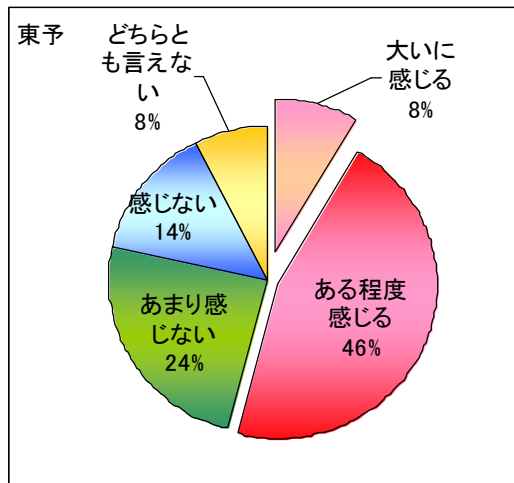
- 最も望まれる情報の入手方法について、全ての年代で、「**テレビ・ラジオ・新聞などの報道**」が1位になっています。
- 20歳未満、20歳代、30歳代では、「**携帯電話のメール**」が2位になっていますが、40歳代以降の世代では、「**回覧板など町内会からのお知らせ**」が2位になっています。

③犯罪に関する事項

問 日常生活で「犯罪に遭うかもしれない」と不安を感じることがありますか。

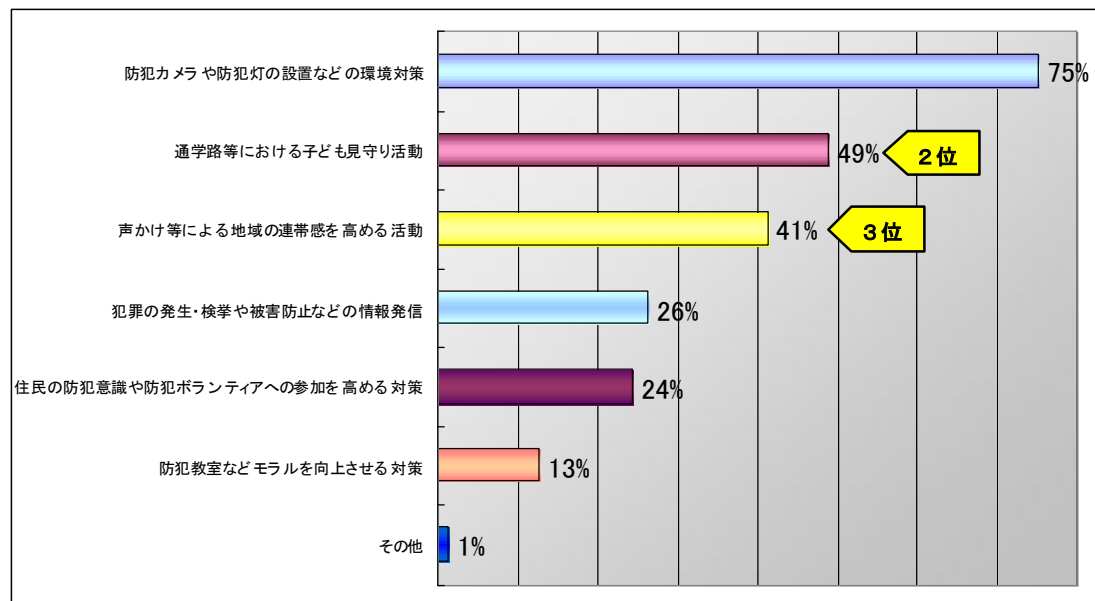


- 犯罪に遭うかもしれない不安について、**6割強**の人が、「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えています。
- 地域別にみると、犯罪に遭う不安を「**大いに感じる**」と答えた人の割合は、**中予地方**が最も**高く**、「ある程度感じる」と答えた人をあわせると、**約7割**の人が不安を感じています。
- また、犯罪に遭う不安を「**感じない**」と答えた人の割合は、**東予地方**が最も**高く**なっています。



③ 犯罪に関する事項

問 女性や子どもなどの犯罪弱者を守るため、道路や公園など公共の空間で力を入れるべき防犯対策や活動は何だと思いますか。（3つまで）



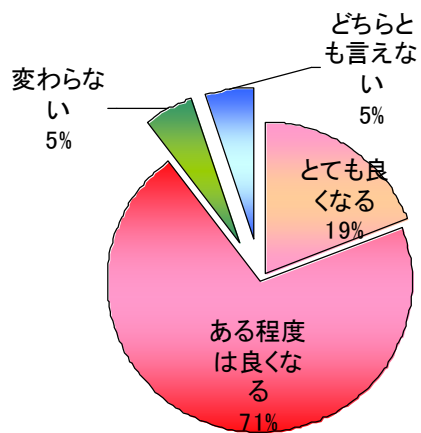
- 犯罪弱者を守るための防犯対策として、7割以上の人が、「防犯カメラや防犯灯の設置などの環境対策」と答えています。
- 環境対策に続いて、「通学路における子ども見守り活動」「声かけ等による地域の連帯感を高める活動」が上位になっています。

【防犯対策等に関するその他の意見】

- 公園にあるトイレの照明をもっと明るくして欲しい。
- 住宅街でも暗い場所が多いので、もっと街灯を増やして欲しい。
- 犯罪が減ると言われている「青色防犯灯」を設置して欲しい。
- 護身術教室への参加、子どもへの防犯教育を徹底して欲しい。

④防犯ボランティアに関する事項

問 防犯ボランティアの活動が活発になれば、治安は良くなると思いますか。

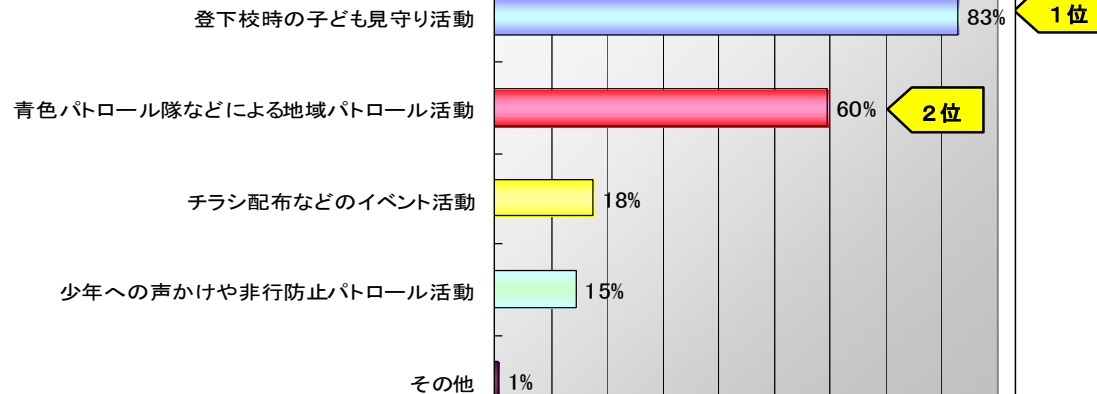
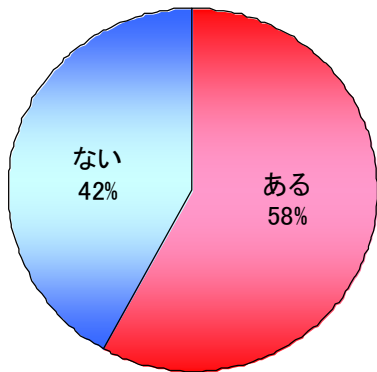


- 防犯ボランティアの活動と治安の関係について、**9割**の人が、活動が活発になれば、「**とても良くなる**」「**ある程度良くなる**」と答えています。
- 防犯ボランティアの活動について、約6割の人が「見たことがある」と答えています。
- 防犯ボランティア活動を見た人のうち、**約8割**の人が「**子ども見守り活動**」と答えています。

問 あなたは、実際に防犯ボランティアの活動を見たことがありますか。

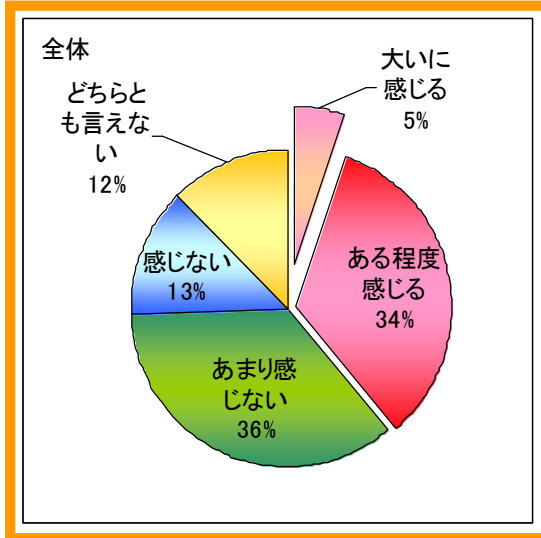


問 左の問題で「ある」と答えた方で、それはどのような活動ですか。（複数回答可）

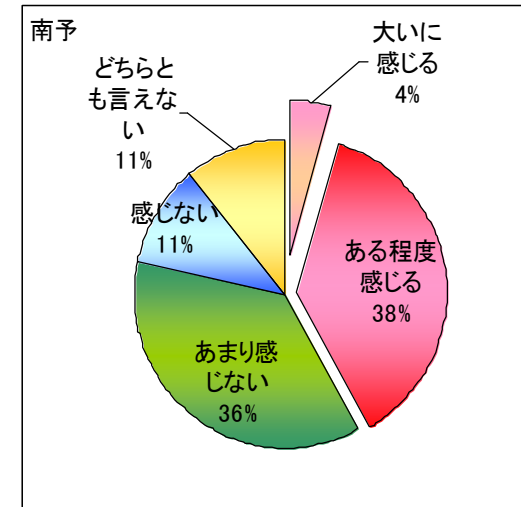
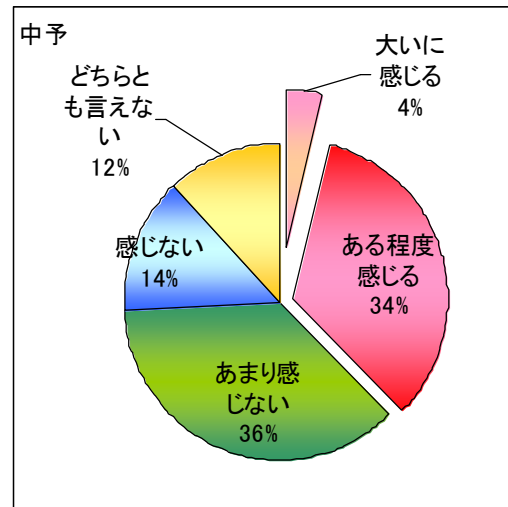
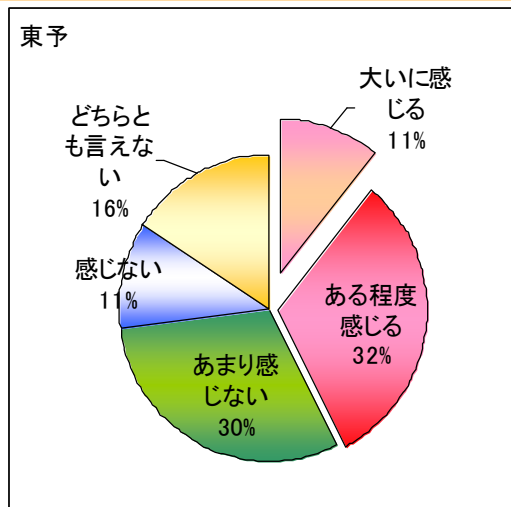


④防犯ボランティアに関する事項

問 自分が住んでいる地域は、防犯ボランティア活動が活発だと感じますか。

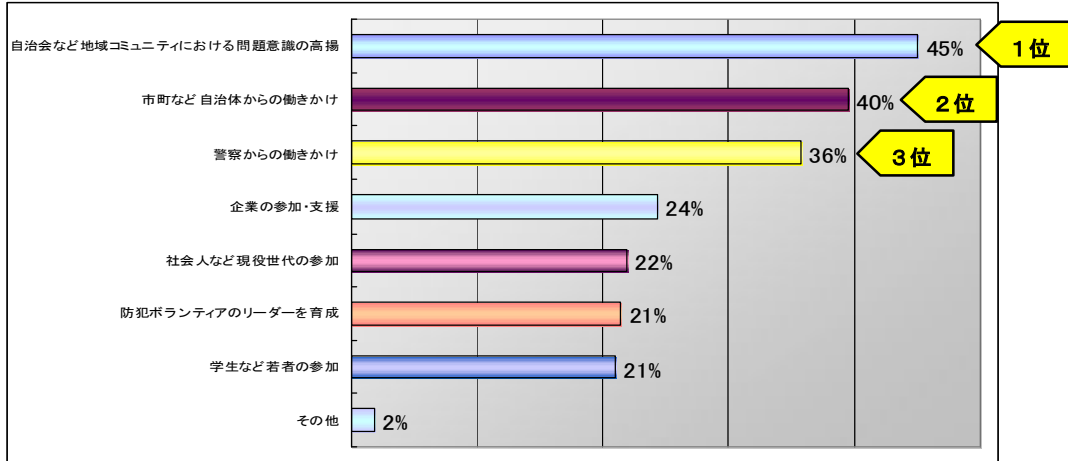


- 防犯ボランティアの活動について、約4割の人が、活動が活発だと「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えています。逆に、「感じない」「あまり感じない」と答えている人は、約5割に上っています。
- 地域別にみると、活動が活発だと「大いに感じる」と答えている人の割合は、東予地方が最も高くなっています。
- また、防犯ボランティアの活動について、活動が活発だと「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えている人の割合は、中予地方が最も低くなっています。

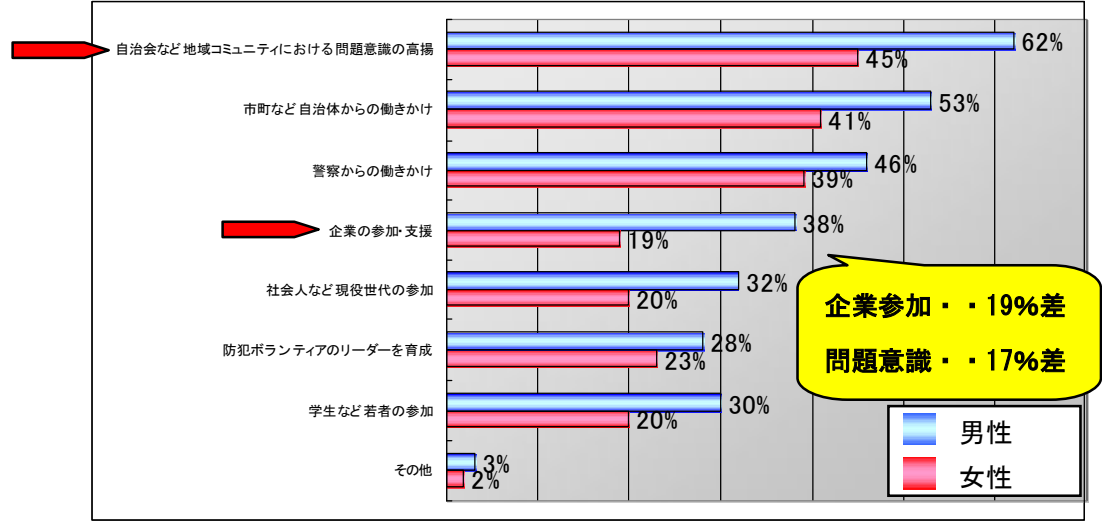


④防犯ボランティアに関する事項

問 防犯ボランティア活動について、その活動が「あまり活発でない」「活発でない」と感じている方で、どうしたら地域の防犯活動が活発になるとお思いますか。(複数回答可)



- 地域の防犯活動を活発化するために、約4割以上の方が、「自治会など地域コミュニティにおける問題意識の高揚」「市町など自治体からの働きかけ」が必要と答えています。
- 男女別で比較すると、「企業の参加・支援」「問題意識の高揚」の項目で、男女の割合に大きな開きが見られます。



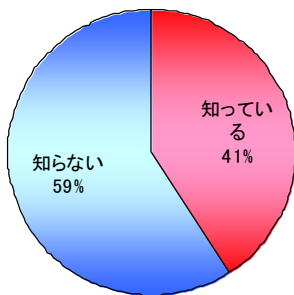
【防犯活動の活発化に関するその他の意見】

- パトロール活動など、各種防犯ボランティア活動に対する各種手当（謝礼）の支給
- 有償ボランティア制度の確立とその予算化
- 安全・安心に関する条例の制定
- 各種防犯活動への高齢者の積極的な参加

⑤各種活動や運動等の認知度に関する事項

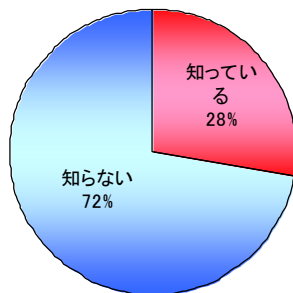
問 あなたは、次の活動や運動を知っていますか。

地域安全運動(行楽期・全国)



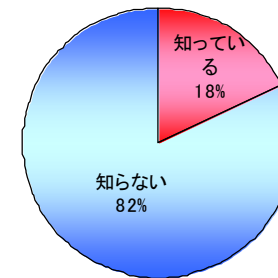
毎年春と秋に、犯罪や事故などのない安全で明るく住み良い地域社会の実現を推進する運動。

防犯の日(毎月5日)



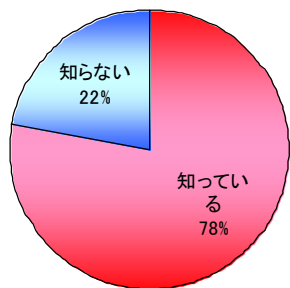
県民の防犯意識を高揚し、犯罪と少年非行の防止を図るため、民警一体による県民総ぐるみの防犯活動を推進する日。

防犯相談所(長)



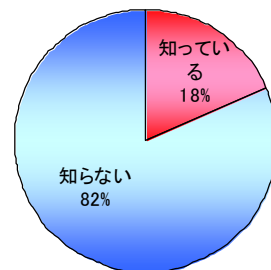
犯罪のない街づくりを目指し、警察等が提供する地域安全情報の住民への伝達、地域住民からの要望等を交番等へ連絡するなどの役割を持った場所(人)。

まもるくんの家・会社・車



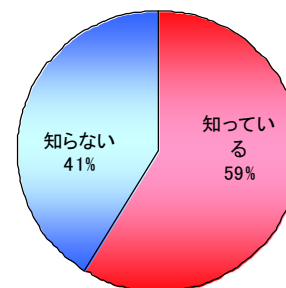
子どもが被害に遭い又は遭うおそれがある場合に、子どもを一時的に保護したり、警察へ通報したりする住宅や事業所、車両。

まもるくんの自動販売機



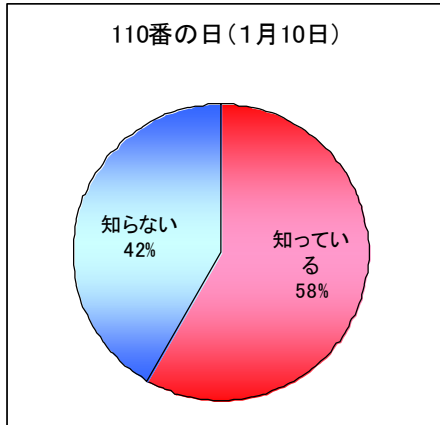
防犯情報など広報啓発文を映し出すことが出来る電光掲示板を備え付けた自動販売機。

青色パトロール活動

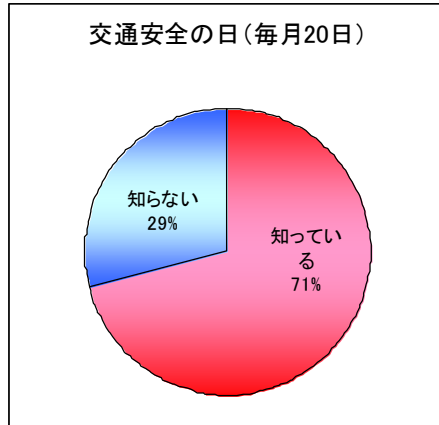


許可を受けた車両に青色の回転灯を取り付け、定められた区域を走行するなどして防犯パトロール等を行う活動。

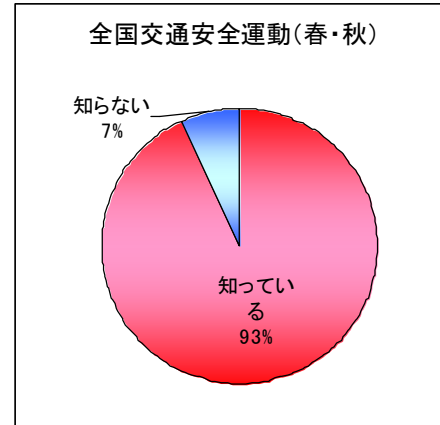
⑤各種活動や運動等の認知度に関する事項



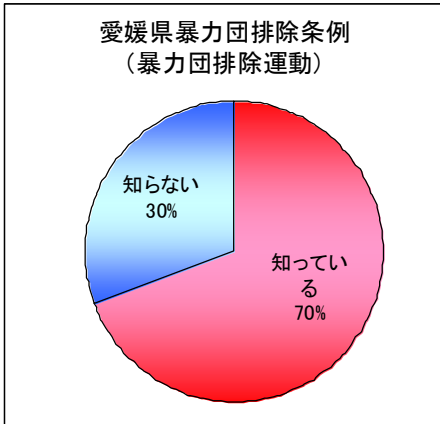
国民に、緊急連絡用である「110番」を正しく知ってもらうため、その適切な利用方法等について周知する日。



交通事故の防止等を目的に、警察や関係機関・団体等が協力して、街頭で取り締まりや広報を行う日。



交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践及び習慣付けなどを目的とした運動。



暴力団を社会から一掃するため、県民総ぐるみ活動の具体的で明確な方法を規定した条例。

【認知度ランキング】

1位	全国交通安全運動(春・秋)	93%
②	まもるくんの家・会社・車	78%
③	交通安全の日(毎月20日)	71%
④	愛媛県暴力団排除条例(暴力団排除運動)	70%
⑤	青色パトロール活動	59%
⑥	110番の日(1月10日)	58%
⑦	地域安全運動(行楽期・全国)	41%
⑧	防犯の日(毎月5日)	28%
最下位	まもるくんの自販機	18%
	防犯相談所(長)	18%

今回のアンケートにご協力して頂いた県民の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

終

愛媛県警察本部 生活安全企画課

犯罪抑止対策係